

登録コード:MH146200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	公衆衛生看護学概論 2年【20M～24M】 Introduction of Public Health Nursing			
担当教員	五十嵐 久人 石田 史織・富澤 真澄			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/2年 後期 木曜・4時限			
単位数、講義室	2単位	多目的講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。		健康増進の意義を理解することができる。	
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		地域の健康課題とその解決方法を理解することができる。	
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		地域の健康を守るための協働を実践できる。	
	MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		地域の健康を守るための協働を実践できる。	
科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		地域の健康課題とその解決方法を理解することができる。		
授業で学べる「テーマ」	地域運営、健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	地域で生活する人々の健康を守り支援する地域看護の基礎となる概念を学ぶことを目的とします。 本授業は、「1年次の健康科学概論」で学んだ知識を基礎とし、2年次後期の「公衆衛生学」の内容と相補的に学んでいくこととなります。そして、本授業の内容は、3年次に学ぶ「公衆衛生看護学支援論」の重要な基礎知識となります。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでおり、また、担当教員の地域における保健師、看護師、企業内専門職としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第1回（10月 1日）ヘルスプロモーションと公衆衛生看護活動 第2回（10月 8日）健康教育とは 第3回（10月15日）健康教育演習 第4回（10月22日）SDH（Social Determinants of Health） 第5回（10月29日）プライマリーヘルスケアとヘルスプロモーション、演習ガイド 第6回（11月 5日）ヘルスプロモーション演習 第7回（11月12日）ヘルスプロモーション演習 第8回（11月19日）演習発表 第 9回（12月 3日）保健活動の実際1 地域で実施されている保健活動を調べる 第10回（12月10日）保健活動の実際2 地域で実施されている保健活動をまとめる 第11回（12月17日）地域診断 第12回（12月24日）保健活動の実際3 母子保健活動 第13回（ 1月 7日）保健活動の実際4 疾病予防・健康づくり 第14回（ 1月14日）保健活動の実際5 個別支援 第15回（ 1月21日）保健活動の実際6 学校保健 第16回（ 1月28日）まとめ、授業アンケート			
授業の進め方	授業は、配付資料、視聴覚教材に基づき講義を中心に進めていきます。さらに、能動学習による理解の深化を目指すため、質疑応答に重きを置いた授業展開とし、加えて授業の途中でグループワークや同じ机に座っている人同士のディスカッションが入ります。グループワークでは、個人の事前学習をグループで共有しグループの見解としてプレゼンテーションを行うこと等を課題とします。予習・復習をとおして能動的に学んだ内容を論理的・言語的にわかりやすく他者に伝える経験を積み上げることも重視します。 資料をe-ARPSにupしますので、必ず印刷または自分のPCにダウンロードなどして確認できるように準備してください。 事前に課題を出すことがあります。準備して授業に臨んでください。			
テキスト、教材、参考書	参考書 メジカルフレンド社 「別巻 ヘルスプロモーション」			
成績評価の方法	成績評価は、授業前後のレポートによる評価とする。 レポート課題は、授業の中で複数のテーマを提示します。			
成績評価の基準	レポートの、(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提			

成績評価の基準	示できており、かつ、「卓越している」秀。(i) から (v) の 5 項目を満たしていれば「かなり上にある」優。4 項目までできていれば「やや上にある」良。3 項目までできていれば「水準にある」可。 秀：100 - 90点 優：89 - 80点 良：79 - 70点 可：69 - 60点
事前事後学習の内容	【事前学習について】 授業の終わりに、次回の授業までに予習しておくべき内容を指定します。 【事後学習について】 授業の終わりに、授業内容について確認すべき内容を提示します。 本授業の単位習得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間30時間（2時間×15回）+自己学習時間60時間（4時間×15回）=90時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	公衆衛生看護学概論は、健康科学論、公衆衛生学、医療社会学、保健・医療・福祉政策論、疫学・保健統計などの授業を基盤として授業を進めます。加えて看護学（基礎・成人・老年・母性・小児・精神）についてもすでに学んだ内容とリンクさせながら授業を進めます。各科目を別の内容と捉えずリンクさせて授業に臨んでください。 オフィスアワーは随時です。質問や相談については、授業後あるいは教員のメールアドレスを確認し、メールしてください。 質問への対応：五十嵐久人 higaras@shinshu-u.ac.jp 石田史織 shioriis@shinshu-u.ac.jp 富澤真澄 masumitmzw@shinshu-u.ac.jp